



2020年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 中村 知美
2020年5月18日

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

1

本日はお忙しい中、株式会社SUBARU 2020年3月期決算説明会にご参加頂き、ありがとうございます。また、平素は当社の事業活動に対し、多大なご理解・ご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。今回の決算説明会は、コロナウイルス感染防止に配慮し、電話会議での開催と致しました。何卒ご理解ください。

始めに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、不幸にしてお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げます。そして、日夜懸命の努力を尽くされている世界各国の医療関係者や、ライフラインの維持に携っている皆様に、心からの感謝と敬意を表します。

2020年3月期 通期業績

(単位:億円)

	2019年3月期 実績 (*1) (a)	2020年3月期 前回計画 (2020/2/5公表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	
連結販売台数 (千台)	1,000.8	1,041.3	1,033.9	+33.0	-7.5	
売上収益 (*2)	31,562	33,600	33,441	+1,880	-159	
営業利益	1,817	2,200	2,103	+286	-97	
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3)	1,414	1,630	1,526	+112	-104	
為替レート	US\$	¥111	¥109	¥109	-¥2	+¥0
	EURO	¥129	¥122	¥121	-¥9	-¥1
	CAN\$	¥85	¥82	¥82	-¥2	+¥0

* 1: 当期より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用。比較対象となる2019年3月期 通期実績を、IFRSに従って再計算。当時発表値とは異なる。

* 2: 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

* 3: 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

まず、2020年3月期 通期業績の概要です。
増減の要因など詳細については、後程CFOの岡田よりご説明します。

国内と海外を合わせた連結販売台数は、103万3千9百台となりました。

これに伴い売上収益も、前期比で 1,880億円の増加となる、3兆3千441億円となりました。

営業利益は、前期比で 286億円増えて、2千103億円、
当期利益は、前期比112億円増の、1千526億円となりました。
これは、2期ぶりの増収、4期ぶりの増益となります。

なお、新型コロナウイルス感染症による、2020年3月期の連結業績に対する影響は、主力の米国市場の減速が3月中盤からだったため、限定的となりました。

2021年3月期 通期計画

(単位: 億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減
連結販売台数 (千台)	1,033.9	未定	—
売上収益 (*1)	33,441	未定	—
営業利益	2,103	未定	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*2)	1,527	未定	—
為替レート	US\$	¥109	未定
	EURO	¥121	未定
	CAN\$	¥82	未定

* 1: 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

* 2: 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

続いて、今年度の通期計画についてです。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今期に入って以降、当社の事業活動にも大きな影響が出ています。

生産面では、国内の群馬製作所は4月9日から5月1日まで、米国のSIAは3月23日から5月8日まで、それぞれ操業を停止しました。いずれも5月11日より再開していますが、群馬では早番のみの1直操業、SIAもペースを落とすなど、生産調整を行っています。

販売面においても、主力の米国市場では、未だに6割の販売店が営業活動に何らかの制約を受けている状況です。

足元では、各国政府による経済・社会活動の再開に向けた動きがみられますが、感染症の終息時期や、経済・社会活動の再開に関する見通しは未だ不透明であり、現時点で当社業績への影響を合理的に算定することは困難なことから、2021年3月期の通期業績見通しは未定と致します。今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに公表致します。

なお、当社は2020年2月に「新型肺炎対策本部」を立ち上げて以降、お客様や従業員の安全確保・感染防止および事業活動継続のために、既に様々な対応を取っております。引き続き、一日も早い事業活動の正常化と、業績影響の軽減にむけて、打てる手はすべて打つ覚悟で、全社一丸となって取り組みます。

株主還元

【一株当たり配当金】

(単位:円)

	2019年3月期	2020年3月期 (直近予想)	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
第2四半期末	72	72	72	未定
期末	72	72	28	未定
年間合計	144	144	100	未定
配当性向	78.1%	—	50.3%	—

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

そして、配当についてです。

中期経営ビジョンで掲げている「安定的・継続的な還元を重視する」観点から、2020年3月期は前年同額の年間144円で予定しておりました。

しかし、先ほど申し上げた通り、新型コロナウイルス感染症により当社の事業活動にも多大な影響が出ており、今後の資金需要などを含めて総合的に勘案した結果、期末配当金を、従来予定の一株当たり72円から28円に変更する予定です。

その結果、中間配当と合わせた年間配当金は一株当たり100円となる予定です。

なお、配当については、今年6月23日に予定する定時株主総会の議決で決定頂くことになります。

さらに、2021年3月期については、業績見通しが未定であることから、配当も未定とします。

生産・販売への影響を見通すことができた時点で、業績予想を速やかに公表するとともに、配当金についてもお知らせしたいと考えております。

これら諸般の状況に鑑み、私以下、全ての執行役員の報酬について、その一定割合を自主返納することに致しました。

何卒ご理解を賜りたく、お願い申し上げます。



再び笑顔になれる日を信じて

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

困難な状況下ではありますが、
今はまず、お客様をはじめ従業員やその家族の安全確保を最優先に、
感染拡大防止に細心の注意を払いながら、
企業としての社会的責任を果たすため、事業活動を継続して参ります。

改めて、皆様のご理解・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみを全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

続いて、CFOの岡田より、決算の詳細についてご説明申し上げます。



2020年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 岡田 稔明
2020年5月18日

2020年3月期 実績

当社は2020年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。

このため、次ページ以降はIFRSに基づき作成しております。

尚、IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点については参考(2)をご確認ください。

通期実績 連結完成車販売台数(市場別)

	(千台)					ご参考: 日本基準
	2019年3月期 実績 (a)	2020年3月期 前回計画 (2/5発表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	2019年3月期 実績
登録車 (*)	110.2	104.2	101.9	-8.3	-2.3	109.7
軽自動車 (*)	26.0	23.8	23.9	-2.2	+0.1	25.6
国内合計 (*)	136.2	128.0	125.8	-10.4	-2.2	135.3
米国	659.7	700.0	701.6	+41.9	+1.6	659.7
カナダ	56.8	62.0	60.4	+3.5	-1.6	56.8
ロシア	8.1	8.5	8.7	+0.5	+0.2	8.1
欧州	32.1	37.6	37.0	+4.9	-0.6	32.1
豪州	41.7	42.9	43.1	+1.4	+0.2	41.7
中国	22.8	24.5	20.6	-2.1	-3.8	22.8
その他	43.3	37.9	36.7	-6.6	-1.3	43.3
海外合計	864.6	913.3	908.0	+43.5	-5.3	864.6
合計	1,000.8	1,041.3	1,033.9	+33.0	-7.5	999.9

* IFRS: 納車基準、日本基準: 登録基準
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

それでは、2020年3月期 通期実績についてご説明いたします。

まず連結販売台数についてですが、
 グローバル合計で、前年同期に対し、3万3千台の増となる103万3千9百台となりました。

海外市場については、主力の米国において、
 レガシィ及びアウトバックの販売が新旧モデルの切り替えの影響を受け減少しましたが、
 フォレスターやアセントの販売が好調に推移したことなどにより、
 前年同期に対し4万3千5百台の増となる 90万8千台となりました。

国内については、
 主力モデルのインプレッサの販売が減少したことなどにより、
 前年同期で1万4百台の減となる、12万5千8百台となりました。

通期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2019年3月期 実績 (a)	2020年3月期 前回計画 (2/5発表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車 販売台数 合計	1,000.8	1,041.3	1,033.9	+33.0	-7.5

(千台)

	2019年3月期 実績 (a)	2020年3月期 前回計画 (2/5発表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	372.2	381.8	367.3	-4.9	-14.5
国内生産	617.0	667.0	663.6	+46.6	-3.3
合計	989.1	1,048.7	1,030.9	+41.8	-17.8

*生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

また生産台数については、
前年同期に対し、4万1千8百台の増となる103万9百台となりました。

米国生産については、前年に対し、4千9百台の減となる36万7千3百台となりました。

アセントは増加しましたが、

レガシィ、アウトバックのモデル切り替えなどが影響しました。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、従業員やその家族および地域社会の
安心・安全を優先に考え、3月23日から操業を一時停止したことも影響しました。

国内生産については、前年に対し、4万6千6百台の増となる66万3千6百台となりました。

主に、グローバルで販売好調なフォレスターの増加が寄与しました。

通期実績 連結業績

						(億円)
						ご参考: 日本基準
	2019年3月期 実績 (a)	2020年3月期 前回計画 (2/5発表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	2019年3月期 実績
売上収益 (*1)	31,562	33,600	33,441	+1,880	-159	31,605
国内	5,941	5,605	5,727	-214	+122	5,966
海外	25,620	27,995	27,714	+2,094	-281	25,639
営業利益	1,817	2,200	2,103	+286	-97	1,955
税引前利益 (*2)	1,860	2,200	2,077	+216	-123	1,958
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3)	1,414	1,630	1,526	+112	-104	1,478
為替レート						
US\$	¥111	¥109	¥109	-¥2	±¥0	¥111
EURO	¥129	¥122	¥121	-¥9	-¥1	¥129
CAN\$	¥85	¥82	¥82	-¥2	-¥0	¥85

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

*2 日本基準における「税前利益」を「税引前利益」と表示。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

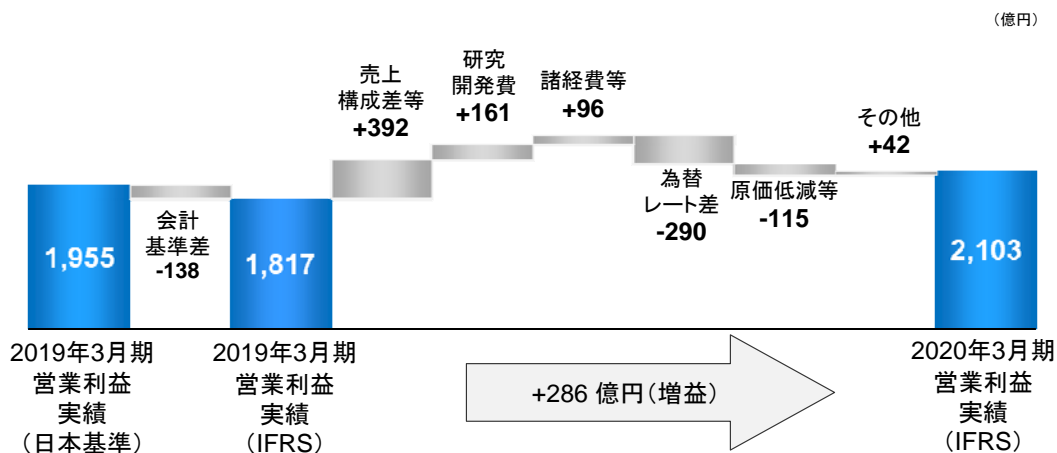
次に、連結業績についてです。

連結売上収益は、為替レート差で594億円の減少となったものの、海外の自動車販売台数の増加などによる売上構成差2,446億円を主因とし、前年同期比1,880億円の増収となる3兆3,441億円となりました。

営業利益につきましては、売上構成差の改善や研究開発費の減少などにより、前年同期比286億円の増益となる2,103億円となりました。

税引前利益は、216億円の増益となる2,077億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、112億円の増益となる1,526億円となりました。

前年実績対比
通期実績 営業利益増減要因



売上構成差 392	諸経費等内訳 96				為替影響 -290	原価低減等 -115	
新車国内 -80	製造固定費 -60	販管費 -94	クレーム費 250	US\$ -193	SUBARU -5	SIA -110	
新車海外 374	SUBARU -49	SIA -11	SUBARU -74	EURO -31	原価低減 75	原価低減 29	
販売奨励金 313	外製型費 0	外製型費 -22	国内ディーラー 16	CAN\$ -20	原材料・市況等 -80	原材料・市況等 -139	
その他 -215	固定加工費 -49	固定加工費 11	SOA (*1) -63	中国元 0			
			SCI (*2) -8	仕入為替調整 -61			
			その他 35	未実現利益分 15			

*1 SOA: Subaru of America Inc.
 *2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

主な増益要因は、売上構成差等の改善と研究開発費の減少です。

売上構成差等は、

販売台数の増加および米国販売奨励金費用抑制により、392億円改善しました。

研究開発費については、

IFRS適用に伴い資産化される額が増えたことなどにより、161億円減少しました。

主な減益要因は、為替レート差と原価低減等です。

為替レート差は、USDドルの2円の円高影響が大きく、-290億円となりました。

貴金属価格の高騰により原材料・市況等が-219億円悪化し、原価低減等は-115億円となりました。

クレーム費に含まれる市場措置費用については、総額約950億円となりました。

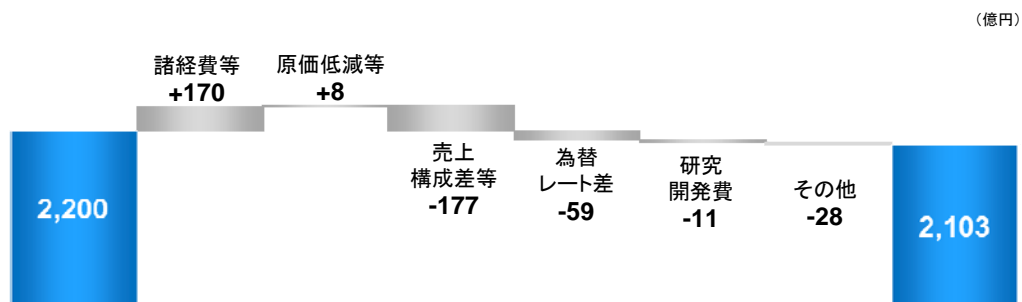
前年に対しては減少し、クレーム費全体で約250億円の増益要因となりました。

尚、米国の販売奨励金は、

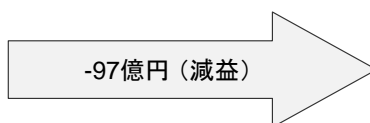
前年同期の2,100ドルから500ドル減となる台あたり1,600ドルとなり、

奨励金総額として285億円の削減となりました。

前回計画(2020/2/5 発表値)対比
通期実績 営業利益増減要因



2020年3月期
 営業利益
 前回計画
 (2/5発表値)



2020年3月期
 営業利益
 実績

諸経費等 内訳 170				原価低減等 8				売上構成差 -177		為替影響 -59			
製造固定費	-6	販管費	68	クレーム費	108	SUBARU	6	SIA	2	新車国内	8	US\$	-11
SUBARU	-20	SIA	14	SUBARU	-12	原価低減	-18	原価低減	-2	新車海外	17	EURO	-4
外製型費	-1	外製型費	1	国内ディーラー	11	原材料・市況等	24	原材料・市況等	4	販売奨励金	-103	CAN\$	-1
固定加工費	-19	固定加工費	13	SOA (*1)	-11					その他	-99	中国元	0
		SCI (*2)	6									仕入為替調整	-2
		その他	74									未実現利益分	-41

*1 SOA: Subaru of America Inc.
 *2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次に、前回発表値に対する営業利益増減要因です。

主な増益要因は、諸経費等の減少です。主にクレーム費が減少しました。

主な減益要因は、売上構成差の悪化と為替影響などです。

売上構成差は、主に販売奨励金が増えたことにより、-177億円となりました。

尚、販売奨励金-103億円の内、米国で-62億円です。

前回計画の台当たり1,550ドルから50ドル増えたことにより、増加となりました。

第4四半期(3ヵ月)実績 連結業績

				(億円)	
				ご参考: 日本基準	
	2019年3月期 4Q 実績	2020年3月期 4Q 実績	増減	2019年3月期 4Q 実績	
売上収益 (*1)	7,648	8,595	+947	7,831	
国内	1,432	1,485	+52	1,608	
海外	6,216	7,111	+895	6,223	
営業利益	261	577	+316	419	
税引前利益 (*2)	283	544	+262	378	
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3)	233	409	+176	296	
為替レート					
US\$	¥110	¥110	-¥1	¥110	
EURO	¥126	¥121	-¥5	¥126	
CAN\$	¥83	¥83	-¥0	¥83	

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

*2 日本基準における「税引前利益」を「税引前利益」と表示。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

御参考に、第4四半期(3ヵ月)の連結業績について、説明します。

連結売上収益は、前年同期比947億円の増収となる8,595億円となりました。

営業利益につきましては、諸経費、主にクレーム費の減少と海外の自動車販売台数の増加などによる売上構成差の改善などにより、前年同期比316億円の増益となる577億円となりました。

税引前利益は、262億円の増益となる544億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、176億円の増益となる409億円となりました。

尚、新型コロナウイルス感染症の全世界的な感染拡大の影響について、中国市場をはじめ、当社の主要市場である米国市場においても、大打撃を受けています。しかし、米国市場については、3月中盤から減速し始めたため、第4四半期の損益への影響は限定的となりました。

通期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
営業活動CF	2,507	2,101	-406
投資活動CF	-1,901	-258	+1,643
フリーCF	606	1,843	+1,237
財務活動CF	-1,416	-158	+1,258
為替変動の影響額	177	-118	-295
現金及び現金同等物の増減	-633	1,566	+2,199
現金及び現金同等物 期末残高	7,023	8,590	+1,566

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

続きまして、連結キャッシュフローです。

2020年3月期の現金及び現金同等物の増減は1,566億円、期末の現金及び現金同等物残高は8,590億円となりました。

税引前利益は約2,077億円となりましたが、既に引き当て済みのリコール案件の実施によるキャッシュアウトや仕入債務の減少を鑑み、定期預金の解約や長期借入金、社債などによる資金調達を進めました。

設備投資・減価償却費・有利子負債・研究開発支出

(億円)

	2019年3月期 実績 (a)	2020年3月期 前回計画 (2/5発表値) (b)	2020年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	ご参考: 日本基準
						2019年3月期 実績
設備投資 (*1)	1,140	1,400	1,260	+120	-140	1,135
減価償却費 (*1)	891	1,000	961	+70	-39	888
有利子負債 (*1)	1,037	2,400	2,392	+1,355	-8	1,004
研究開発支出 (*2)	1,027	1,170	1,187	+160	+17	

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費およびリース負債は上記の実績・見通しに含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しております。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

設備投資、減価償却費、有利子負債、研究開発支出については、ご覧の通りとなります。

有利子負債は、前年に対し1,355億円増の、2,392億円となりました。

コロナウイルスリスクに対する手元資金の確保

2020年3月末時点

現金及び現金同等物残高 8,590億円
有利子負債残高 2,392億円

+

資金調達 1,000億円（借入金、社債）

コミットメントラインならびに社債・CPの発行枠

コミットメントライン	約2,000億円
社債発行枠	400億円
コマーシャル・ペーパー(CP)発行枠	1,000億円

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

最後に、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するリスクを見据えた手元資金の確保について、説明いたします。

2020年3月末時点の現金同等物残高8,590億円（うち借入2,392億円）に対し、4月以降、1,000億円の資金調達を計画、一部実施しております。

加えて、

- ・ コミットメントライン 約2,000億円、
- ・ 社債発行枠 400億円、
- ・ コマーシャルペーパー発行枠 1,000億円

の資金調達枠を設定しており、お取引先様の支援を含めて、機動的に対応できるように準備をしております。

尚、後発事象として開示いたしましたが、

4月から本日までに、長期借入400億円、コミットメントライン実行による1,515億円を調達しております。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で、2020年3月期 年度決算の説明を終わります。ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上収益
- ・連結財政状態計算書
- ・単独販売台数
- ・米国子会社業績
- ・第4四半期(3ヵ月)連結業績実績
- ・生産台数 / 小売台数 推移

通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	増減		2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	増減	
自動車	(30,145)	30,076	31,939	+1,863	(1,849)	1,721	2,003	+282
航空宇宙	(1,317)	1,341	1,421	+80	(60)	60	51	-10
その他	(144)	144	80	-64	(38)	33	36	+3
消去・全社					(7)	3	14	+11
合計	(31,605)	31,562	33,441	+1,880	(1,955)	1,817	2,103	+286

*カッコ内数値：日本基準

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

通期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2019年 3月期 実績		2020年 3月期 実績		2019年 3月期 実績		2020年 3月期 実績	
			増減				増減	
日本	(8,990)	8,963	8,707	-256	(1,147)	1,036	1,027	-9
北米	(21,037)	21,020	23,118	+2,098	(669)	646	1,151	+505
その他	(1,578)	1,578	1,616	+38	(34)	30	21	-9
消去・全社					(105)	105	-95	-200
合計	(31,605)	31,562	33,441	+1,880	(1,955)	1,817	2,103	+286

*カッコ内数値：日本基準

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

通期実績 連結海外売上収益

(億円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 実績	増減
北米	(22,017)	21,999	24,131	+2,132
欧州	(1,005)	1,006	1,162	+157
アジア	(1,164)	1,163	1,064	-99
その他	(1,453)	1,452	1,357	-95
合計	(25,639)	25,620	27,714	+2,094

*カッコ内数値：日本基準

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

連結財政状態計算書

(億円)

	2019年3月末	2020年3月末	増減
資産合計	31,806	32,939	+1,133
流動資産	19,137	19,788	+650
非流動資産	12,669	13,151	+483
負債合計	14,907	15,738	+831
有利子負債	1,037	2,392	+1,355
資本合計	16,899	17,201	+302
利益剰余金	13,506	13,972	+466
親会社の所有者に帰属する持分	16,822	17,129	+306
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.9%	52.0%	-
D/Eレシオ	0.06	0.14	-

通期実績 単独販売台数

(千台)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
国内生産	617.0	663.6	+46.6
国内売上	140.7	128.5	-12.3
登録車	114.4	103.8	-10.6
軽自動車	26.3	24.7	-1.6
輸出台数	491.5	551.2	+59.7
海外生産用部品	403.0	381.2	-21.8
単独売上合計	1,035.2	1,060.8	+25.6

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

通期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
売上高	19,114	21,076	+1,962
営業利益	349	880	+527
当期純利益	297	681	+383
小売販売台数(千台)	684.5	671.3	-13.2
SIA	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
売上高	8,887	9,050	+163
営業利益	169	87	-82
当期純利益	134	92	-43
生産台数(千台)	372.2	367.3	-4.9

* 訂正: 2019年3月期 小売販売台数

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

第4四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2019年3月期 4Q実績	2020年3月期 4Q実績	増減	ご参考:日本基準
				2019年3月期 4Q実績
登録車 (*)	25.3	25.7	+0.4	29.8
軽自動車 (*)	6.7	5.4	-1.3	7.0
国内合計 (*)	32.0	31.1	-0.9	36.8
米国	163.8	181.6	+17.8	163.8
カナダ	9.6	15.3	+5.7	9.6
ロシア	1.6	1.4	-0.1	1.6
欧州	6.2	11.9	+5.7	6.2
豪州	6.0	9.9	+3.9	6.0
中国	6.1	3.1	-3.1	6.1
その他	7.6	8.6	+1.0	7.6
海外合計	201.0	231.8	+30.8	201.0
合計	233.0	262.9	+29.9	237.8

* IFRS:納車基準、日本基準:登録基準

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

第4四半期(3ヵ月)実績 連結業績

				(億円)	
				ご参考: 日本基準	
	2019年3月期 4Q 実績	2020年3月期 4Q 実績	増減	2019年3月期 4Q 実績	
売上収益 (*1)	7,648	8,595	+947	7,831	
国内	1,432	1,485	+52	1,608	
海外	6,216	7,111	+895	6,223	
営業利益	261	577	+316	419	
税引前利益 (*2)	283	544	+262	378	
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3)	233	409	+176	296	
為替レート	US\$	¥110	¥110	-¥1	¥110
	EURO	¥126	¥121	-¥5	¥126
	CAN\$	¥83	¥83	-¥0	¥83

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

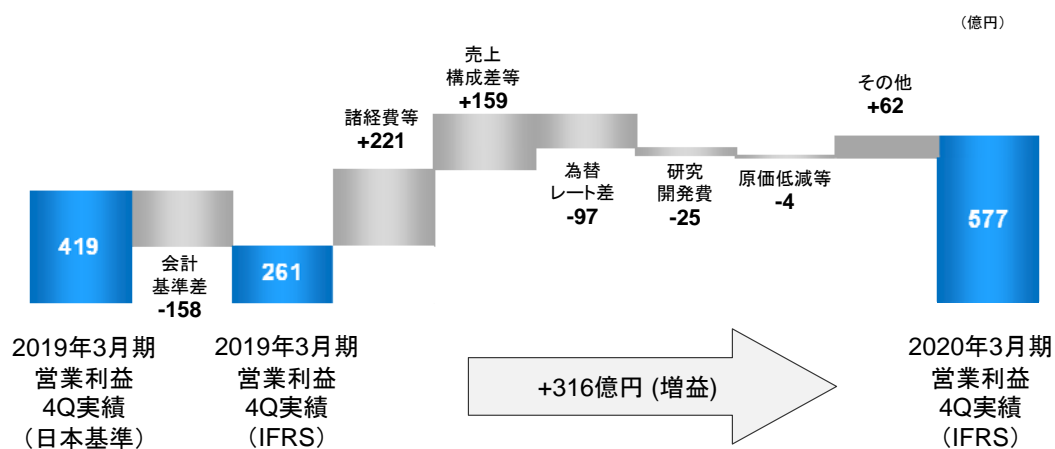
*2 日本基準における「税引前利益」を「税引前利益」と表示。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

第4四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因



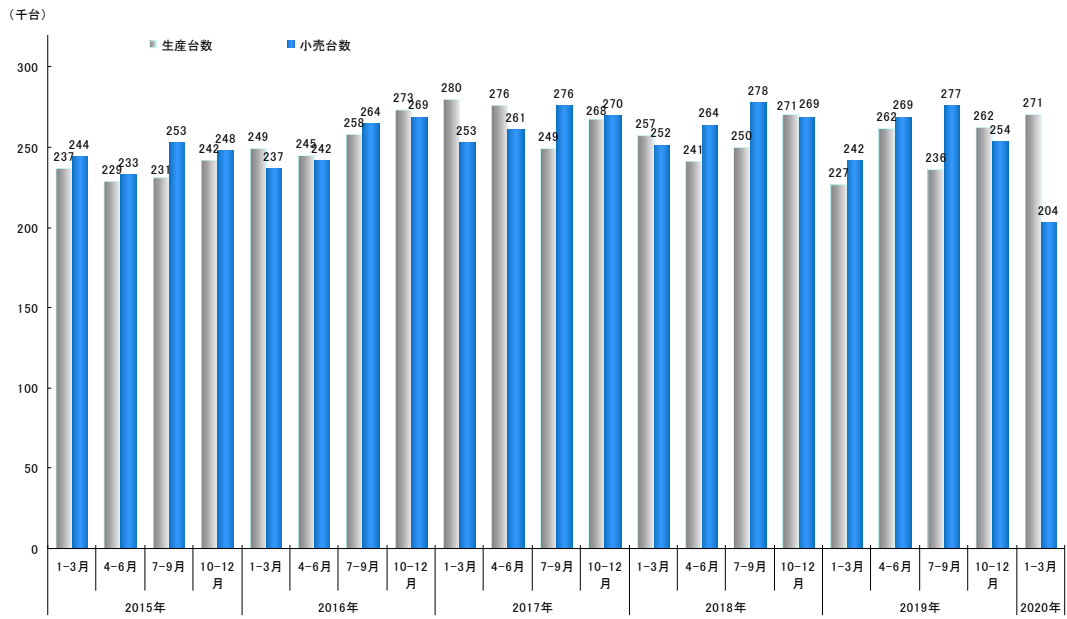
諸経費等 内訳 221				売上構成差 159		為替影響 -97		原価低減等 -4					
製造固定費	-15	販管費	-72	クレーム費	308	US \$	-24	SUBARU	15	SIA	-19		
SUBARU	-5	SIA	-10	SUBARU	-31	新車国内	6	EURO	-9	原価低減	10	原価低減	7
外製型費	4	外製型費	-12	国内ディーラー	5	新車海外	325	CAN \$	-1	原材料・市況等	5	原材料・市況等	-28
固定加工費	-9	固定加工費	2	SOA (*1)	-61	販売奨励金	-24	中国元	0				
		SCI (*2)	-3	その他	-148	その他	-148	仕入為替調整	-8				
		その他	18					未実現利益分	-55				

*1 SOA: Subaru of America Inc.
*2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

生産台数 / 小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

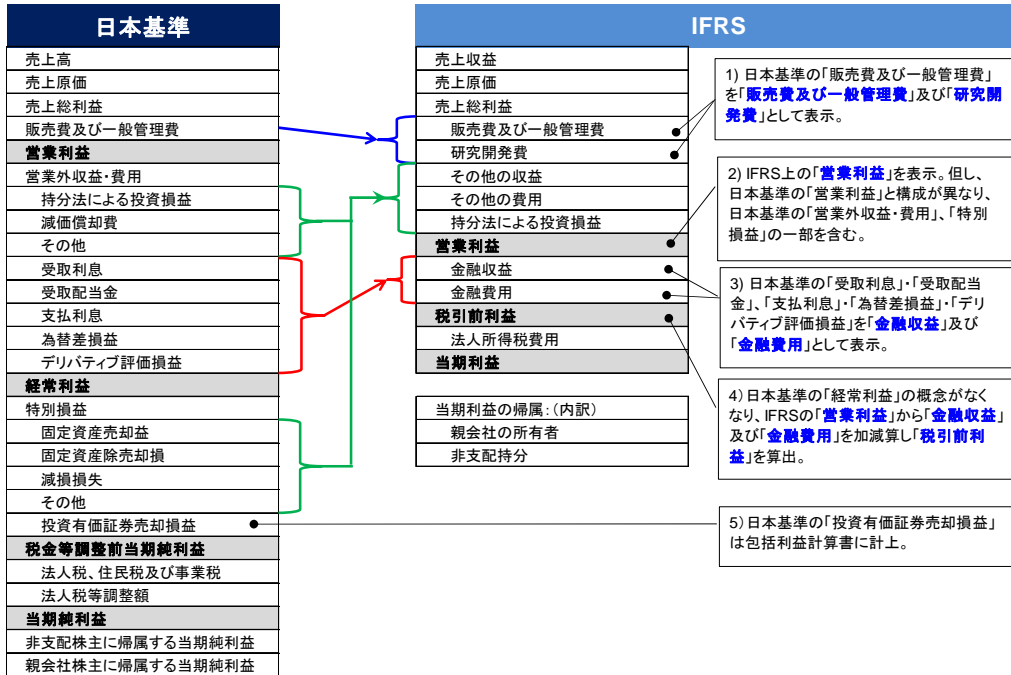
ご参考 (2)

IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点

日本基準 / IFRS 主な差異

項目	日本基準	IFRS
研究開発費	発生時に全て費用処理	資産計上の要件を満たす場合は、無形資産とし償却
	営業CFに含める	資産計上の開発費は、投資CFに含める
売上計上基準 (日本国内のみ)	自動車の登録日に売上計上	お客様への納車日に売上計上
リース	ファイナンス・リースは資産計上	オペレーティング・リースなども一部資産計上
	オペレーティングリースは営業CF	リース債務の返済は財務CFに含む

連結損益計算書



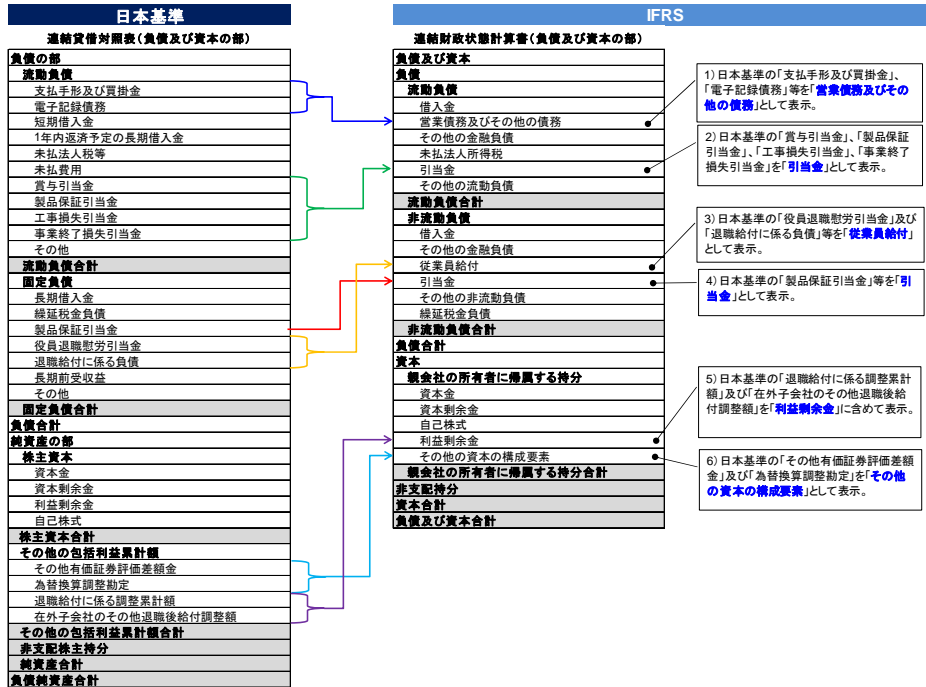
連結財政状態計算書(資産の部)

日本基準	
連結貸借対照表(資産の部)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	
受取手形及び売掛金	
リース投資資産	
有価証券	
商品及び製品	
仕掛品	
原材料及び貯蔵品	
短期貸付金	
その他	
貸倒引当金	
流動資産合計	
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	
機械装置及び運搬具(純額)	
土地	
賃貸用車両及び器具(純額)	
建設仮勘定	
その他(純額)	
有形固定資産合計	
無形固定資産	
その他	
無形固定資産合計	
投資その他の資産	
投資有価証券	
退職給付に係る資産	
繰延税金資産	
その他	
貸倒引当金	
投資その他の資産合計	
固定資産合計	
資産合計	

IFRS	
連結財政状態計算書(資産の部)	
資産	
流動資産	
現金及び現金同等物	
営業債権及びその他の債権	
棚卸資産	
未収法人所得税	
その他の金融資産	
その他の流動資産	
小計	
売却目的で保有する資産	
流動資産合計	
非流動資産	
有形固定資産	
無形資産及びのれん	
投資不動産	
持分法で会計処理されている投資	
その他の金融資産	
その他の非流動資産	
繰延税金資産	
非流動資産合計	
資産合計	

- 1) 日本基準の「現金及び預金」及び「有価証券」のうち、現金及び3か月以内に満期になる有価証券等を「現金及び現金同等物」として表示。
- 2) 日本基準の「受取手形及び売掛金」、「リース投資資産」、「短期貸付金」の一部等を「営業債権及びその他の債権」として表示。
- 3) 日本基準の「商品及び製品」、「仕掛品」及び「原材料及び貯蔵品」を「棚卸資産」として表示。
- 4) 日本基準では費用処理していたオペレーティングリース取引をリース資産として資産計上し、「有形固定資産」に含めて表示。
- 5) 日本基準の「無形固定資産」に加え、IFRS上資産性の認められる研究開発費を資産計上し、「無形資産及びのれん」に含めて表示。
- 6) 日本基準の「有形固定資産」のうち、賃貸に供している資産を「投資不動産」として表示。

連結財政状態計算書(負債及び資本の部)



連結キャッシュフロー

日本基準	IFRS
営業活動によるキャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益	税引前当期利益
減価償却費	減価償却費及び償却費
貸倒引当金の増減額(△は減少)	金融収益
製品保証引当金の増減額(△は減少)	金融費用
受取利息及び受取配当金	持分法による投資損益(△は益)
支払利息	営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)
固定資産売却損益(△は益)	棚卸資産の増減(△は増加)
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)
営業貸付金の増減額(△は増加)	引当金及び従業員給付に係る負債の増減(△は減少)
売上債権の増減額(△は増加)	その他
たな卸資産の増減額(△は増加)	小計
仕入債務の増減額(△は減少)	利息の受取額
支払費用の増減額(△は減少)	配当金の受取額
その他	利息の支払額
小計	法人所得税の支払額
利息及び配当金の受取額	営業活動によるキャッシュ・フロー
利息の支払額	投資活動によるキャッシュ・フロー
法人税等の支払額	有形固定資産の取得による支出
営業活動によるキャッシュ・フロー	有形固定資産の売却による収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	無形資産の取得及び内部開発にかかわる支出
定期預金の純増減額(△は増加)	その他の金融資産の取得による支出
有価証券の取得による支出	その他の金融資産の売却ないし回収による収入
有価証券の売却による収入	その他
固定資産の売却による収入	投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産の売却による収入	財務活動によるキャッシュ・フロー
投資有価証券の取得による支出	短期借入金の増減(△は減少)
投資有価証券の売却及び償還による収入	長期借入れによる収入
貸付による支出	長期借入金の返済による支出
貸付金の回収による収入	自己株式の売却による収入
その他	自己株式の取得による支出
投資活動によるキャッシュ・フロー	親会社の所有者への配当金の支払額
財務活動によるキャッシュ・フロー	リース負債の返済による支出
短期借入金の純増減額(△は減少)	その他
長期借入れによる収入	財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済による支出	現金及び現金同等物の為替変動の影響額
自己株式の取得による支出	現金及び現金同等物の増減(△は減少)
配当金の支払額	現金及び現金同等物の期首残高
その他	連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額
財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の期末残高
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	
現金及び現金同等物の期首残高	
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	
現金及び現金同等物の期末残高	

- 1) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちの減価償却費を「**減価償却費及び償却費**」に含めて表示。
- 2) 日本基準の「製品保証引当金の増減額」及び「その他」に含まれる引当金の増減等を「**引当金及び従業員給付に係る負債の増減**」として表示。
- 3) 日本基準の「固定資産の取得による支出」を「**有形固定資産の取得による支出**」と「**無形資産の取得及び内部開発に係る支出**」として表示。
- 4) 日本基準の「有価証券の取得による支出」を「投資有価証券の取得による支出」と「貸付けによる支出」を「**その他の金融資産の取得による支出**」として表示。
- 5) 日本基準の「有価証券の売却による収入」を「投資有価証券の売却及び償還による収入」と「貸付金の回収による収入」を「**その他の金融資産の売却ないし回収による収入**」として表示。
- 6) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちリース負債の返済を「**リース負債の返済による支出**」として表示。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>